

倫理委員会（議事概要）

国立病院機構 東近江総合医療センター

日時・場所	令和2年7月13日（月） 18:15～19:10 きらめきA
構 成 員	<p>（委員長） 目片副院長 （委員） 内科診療部長、外科診療部長、石河産婦人科医長、 薬剤部長、看護部長、事務部長、企画課長 （外部委員） リモート参加 山 びわこ学院大学 准教 古川 ふるかわ社労士事務所 代表 藤澤 浄光寺 住職 （オブザーバー） 院長 （事務局・書記） 管理課長</p>
議 事 概 要	
<p>（1）申請課題について</p> <p>①2-05申請者：星 参（耳鼻咽喉科医長） 課 題 名：「慢性上咽頭炎での0.5・1%塩化亜鉛擦過療法について」 ※ 6月22日開催の臨床倫理検討部会で条件付承認 （臨床倫理部会長から別紙資料に基づき説明） 概 要：慢性上咽頭炎に対する局所治療。 審査判定：承認 （意 見） ・検討部会で確認している通り、既に確立されている治療法であり問題はないと考えられる。 ・薬の使用に関しては、薬事委員会の審議を経ること。</p> <p>②2-06申請者：竹村 智美（南5病棟看護師） 課 題 名：「すべての看護師が積極的に身体拘束を解除することを目指して」 概 要：病棟の全看護師が身体拘束の解除に向けた取り組みが行えるよう、昨年の看護記録から身体拘束を解除できた要因を分析し、その内容を基に身体拘束解除の指標を作成するもの。 審査判定：承認 （意 見） ・先行研究でされなかった部分に焦点を当て研究することは有益である。 ・解除の判断には、看護師個々の経験数や知識によるところが大きいと考えられるが、それらを含めた様々な要因を分析することは意義がある。</p> <p>③2-07申請者：茶谷 恵美子（手術室看護師） 課 題 名：「患者の術前口腔ケアに関する病棟、手術室看護師の実態調査～術前口腔ケア実施の確立を目指して～」 概 要：手術室、病棟看護師の術前口腔ケアに関する認識と実施状況を調査し、現状の把握とその分析から術前口腔ケアの方法、手順の実施の確立にむけて検討するもの。</p>	

議 事 概 要

審査判定：承認

(意見)

- ・オプトアウトの文書内の誤記、誤表示は修正すること。
- ・職員に対する同意書は不要であるため。アンケートの回答をもって同意を得たとする事は評価できる。

④2-08申請者：川瀬 正裕（南6病棟看護師長）

課題名：「末梢静脈からのオキサリプラチンの投与時の血管痛に対する輸液加温器アニメックの有用性の検討」

概要：末梢静脈からオキサリプラチンを投与する患者に対して、薬液の加温および点滴刺入部の加温を行う群と点滴刺入部の加温のみを行う群に分けて、開始時、30分後、終了後に評価表を用いて10段階中どの程度、どのような痛みか評価を行うもの。

審査判定：承認

(意見)

- ・倫理的には問題はないが、より効率的な研究方法を見直した方が良い。例えばクロスオーバー試験にするなどを検討してはどうか。

⑤2-09申請者：大西 夏子（東2病棟看護師）

課題名：「臥床患者における高頻度接触面の付着細菌数と感染予防対策の取り組み」

概要：臥床患者における高頻度接触面の付着菌数を調べ、細菌数の多い箇所に対して改善策を検討し、水平感染の予防に取り組み、感染防止対策の質の向上に繋げるもの。

審査判定：承認

(意見)

- ・研究の目的は何か、アンケートの位置づけは、アウトカムの評価はどうするか等を見直した方がよい。例えばアンケートを2回実施し、1回目と2回目の間に研修会を開催し、それを比較評価する等してはどうか。

⑥2-10申請者：前田 祥圭（HCU看護師）

課題名：「救急外来における呼吸回数測定の実態と記載率向上への取り組み」

概要：問診表の呼吸回数記入欄への測定値記入があまりされていない印象があるため、呼吸回数測定に関する実態調査、呼吸回数記載率を勉強会実施前後で比較分析を行うもの。

審査判定：承認

(意見)

- ・オプトアウトが添付されていない。これは作成する必要がある。また、職員への同意書は不要ではないか。アンケート提出を以て同意とすること。
- ・呼吸回数の記載件数を増加させるための工夫が必要であり、どのような方法にすれば一番目的に近づけるかを検討すること。

⑦2-11申請者：市川 佳代子（外来看護師）

課題名：「緊急内視鏡に対応できる看護師の育成を促す要因の検討」

概要：緊急内視鏡に対応できる看護師を育成するにあたり、指導する側と指導を受ける側に必要な育成を促す要因をアンケート調査結果から明らかにするもの。

議 事 概 要

審査判定：承認

(意見)

- ・アンケート調査協力依頼文書に関して、内容を精査する必要がある。
- ・経験年数により回答内容が違ってくるので、アンケート用紙に記名するか経験年数を記載する箇所を設ける必要があるのではないか。

⑧2-12申請者：石河 頸子（産婦人科医長）

課題名：「妊婦の外傷による妊娠転帰に関する観察研究」

概要：我が国では、どの程度のどのような外力が妊娠経過及びその転帰に影響するのか、科学的にはほとんど明らかにされておらず、妊婦の外傷とその転帰について科学的エビデンスを確立するために、滋賀県下における交通事故・転倒・傷害などの外傷妊婦症例を集積し、その外力と転帰についての観察研究を行うもの

審査判定：承認

(意見)

- ・一般的には大学→施設の順で倫理委員会承認を得るものであるが、今回は順序が逆である。全施設の協力が必要であることは理解するが。
- ・報告対象施設として、オンコール体制の施設は除外するのか。また、報告要件として、家庭内暴力（いわゆるDV）も含まれるのか。
- ・産科婦人科医以外の救急救命医も参画させればいいのか。

⑨2-13申請者：望月 里咲（南4病棟看護師）

課題名：「高齢術後患者の末梢血管点滴の自己抜去予防の検討 ～アームカバーの使用を実施して～」

概要：手術後の75歳以上の患者を対象に、末梢血管確保側の upper limb に肌着に近い素材のアームカバーを使用する事で、点滴留置による皮膚不快感の軽減となり、末梢血管点滴の自己抜去予防に効果的であるのかを検討し、今後の予防に繋げるもの。

審査判定：承認

(意見)

- ・要因分析チェックリストは患者欄には何を記載するのか、氏名を記載する予定か確認の必要がある。
- ・当該研究データの質を担保するためには、補正する必要があるのではないか。

⑩2-14申請者：村木 歩（南3病棟看護師）

課題名：「血糖測定時に穿刺時痛を軽減させる血糖測定方法 冷却法の検証」

概要：血糖測定は穿刺時痛や穿刺後の持続痛が伴い、患者は恐怖心や強い苦痛を強いられ、血糖測定意欲が低下する可能性がある。血糖測定の痛みを軽減し、できるだけ患者の恐怖心や苦痛が軽減できる血糖測定方法を研究するもの。

審査判定：継続審議

(意見)

- ・侵襲を伴う研究であり、安全性の担保が必要である。
- ・冷却することによるリスクがあり、当該研究を始める前に先行研究で安全性を確保しなければならない。

議 事 概 要

- ・患者への説明書がない。また3回（5秒、10秒、15秒）の計測を何時するのか、同一患者にするのか、朝夕に測定する患者は除外するのか等、調査方法を具体的に詳細に記載すること。

(2) その他

次回開催日について

令和2年9月14日（月） 受託研究審査委員会終了後

以 上